

地方厚生（支）局医療課長  
都道府県民生主管部（局）  
国民健康保険主管課（部）長  
都道府県後期高齢者医療主管部（局）  
後期高齢者医療主管課（部）長

殿

厚生労働省保険局医療課長  
(公印省略)

### 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について

使用薬剤の薬価（薬価基準）（平成20年厚生労働省告示第60号。以下「薬価基準」という。）が、平成27年厚生労働省告示第447号をもって改正されるとともに、療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等（平成18年厚生労働省告示第107号。以下「掲示事項等告示」という。）及び特掲診療料の施設基準等（平成20年厚生労働省告示第63号）が、平成27年厚生労働省告示第448号及び第449号をもって改正され、いずれも平成27年11月26日から適用することとされたところですが、その概要は下記のとおりです。

また、薬価基準の改正に伴い、診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について（平成26年3月5日付け保医発0305第3号。以下「留意事項通知」という。）を下記のとおり改正しますので、併せて貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底をお願いいたします。

#### 記

##### 1 薬価基準の一部改正について

- (1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号。以下「医薬品医療機器法」という。）の規定に基づき製造販売承認され、薬価基準への収載希望があった医薬品等（内用薬14品目、注射薬10品目（再生医療等製品1品目を含む。）及び外用薬3品目）について、薬価基準の別表に収載したこと。
- (2) (1)により薬価基準の別表に収載されている全医薬品の品目数は、次のとおりであること。

区分	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	計
品目数	10, 352	4, 106	2, 602	26	17, 086

## 2 掲示事項等告示の一部改正について

- (1) グラチラマー酢酸塩製剤について、掲示事項等告示第10第1号の「療担規則第20条第2号ト及び療担基準第20条第3号トの厚生労働大臣が定める保険医が投与することができる注射薬」として定めたものであること。
- (2) 新医薬品（医薬品医療機器法第14条の4第1項第1号に規定する新医薬品をいう。）については、掲示事項等告示第10第2号(1)ハに規定する新医薬品に係る投薬期間制限（14日分を限度とする。）が適用されるが、掲示事項等告示の改正によって、新たに当該制限の例外とされる新医薬品は、次のとおりであること。
- ・エクメット配合錠LD及びエクメット配合錠HD

## 3 特掲診療料の施設基準等の一部改正について

グラチラマー酢酸塩製剤について、特掲診療料の施設基準等別表第9「在宅自己注射指導管理料、注入器加算、間歇注入シリソングポンプ加算、持続血糖測定器加算及び注入器用注射針加算に規定する注射薬」として定めたものであること。

## 4 薬価基準の一部改正に伴う留意事項について

### (1) エクメット配合錠LD及び同HD

#### ① 効能・効果

2型糖尿病（ただし、ビルダグリップチン及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る。）であること。

#### ② 保険適用上の取扱い

ア 糖尿病の診断が確立した患者に対してのみ適用を考慮すること。糖尿病以外にも耐糖能異常・尿糖陽性等、糖尿病類似の症状（腎性糖尿、甲状腺機能異常等）を有する疾患があることに留意すること。

イ 本製剤を2型糖尿病治療の第一選択薬として用いないこと。

ウ 原則として、既にビルダグリップチン（50mg1日2回）及びメトホルミン塩酸塩（250mg又は500mg1日2回）を併用し状態が安定している場合、又はビルダグリップチン（50mg1日2回）単剤、メトホルミン塩酸塩（250mg又は500mg1日2回）単剤若しくはビルダグリップチン（50mg1日2回）及びメトホルミン塩酸塩（250mg1日2回）の治療により効果不十分な場合に、本製剤の使用を検討すること。

エ 本製剤投与中において、本製剤の投与がビルダグリップチン及びメトホルミン塩酸塩の各単剤の併用よりも適切であるか慎重に判断すること。

### (2) ヴィキラックス配合錠

本剤の効能・効果は「セログループ1（ジェノタイプ1）のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」であることから、慢性肝炎を発症していないC型肝炎ウイルス感染者及び非代償性肝硬変患者には使用しないこと。

### (3) ムルプレタ錠 3 mg

本製剤の使用上の注意において、「開腹、開胸、開心、開頭又は臓器切除を伴う観血的手技の場合は、本剤の投与を避けること。」とされていることから、このような症例には使用しないこと。また、観血的手技の名称及び実施予定年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記入すること。

### (4) ライゾデグ配合注 ペンフィル及び同フレックスタッチ

① 本製剤は、インスリン製剤であり、本製剤の自己注射を行っている患者に対して指導管理を行った場合は、診療報酬の算定方法（平成20年厚生労働省告示第59号）別表第一医科診療報酬点数表（以下「医科点数表」という。）区分番号「C10

- 1」在宅自己注射指導管理料を算定できるものであること。
- ② ライゾデグ配合注フレックスタッチについては、注入器一体型のキットであるので、医科点数表区分番号「C101」在宅自己注射指導管理料を算定する場合、医科点数表区分番号「C151」注入器加算は算定できないものであること。
- (5) リュープリンPRO注射用キット22.5mg  
本製剤は、24週間に1回投与する製剤であるため、次回投与までの間であっても、患者の状態に応じて必要と判断される場合は十分な観察等を行うよう留意すること。
- (6) コパキソン皮下注20mgシリンジ  
① 本製剤は、グラチラマー酢酸塩製剤であり、本製剤の自己注射を行っている患者に対して指導管理を行った場合は、医科点数表区分番号「C101」在宅自己注射指導管理料を算定できるものであること。  
② 本製剤は、針付きのキットであるので、医科点数表区分番号「C101」在宅自己注射指導管理料を算定する場合、医科点数表区分番号「C153」注入器用注射針加算は算定できないものであること。
- (7) テムセルHS注  
本品の警告において、「緊急時に十分対応できる医療施設において、造血幹細胞移植に関する十分な知識・経験を持つ医師のもとで、臨床検査による管理等の適切な対応がなされる体制下で本品を使用すること」、また、効能、効果又は性能に関連する使用上の注意において、「ステロイド療法によっても十分な治療効果が得られない場合に使用すること」及び「本品の投与に際しては、急性GVHDの重症度等、「臨床成績」の項の内容を熟知し、本品の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと」とされていることから、このような場合に限り算定できるものであり、本品の使用が必要かつ有効と判断した理由を診療報酬明細書の摘要欄に記入すること。
- (8) ロコアテープ  
本製剤の用法・用量は、「1日1回患部に貼付する。同時に2枚を超えて貼付しないこと。」とされていることから、1日2枚までに限り算定できるものであること。
- 5 関連通知の一部改正について  
留意事項通知の一部を次のように改める。
- 別添1第2章第2部第3節C200(1)中「及びアスホターゼ アルファ製剤」を「、アスホターゼ アルファ製剤及びグラチラマー酢酸塩製剤」に改める。
- 別添3区分01(5)イ中「及びアスホターゼ・アルファ製剤」を「、アスホターゼ・アルファ製剤及びグラチラマー酢酸塩製剤」に改める。
- 別添3別表1中「及びアスホターゼ・アルファ製剤」を「、アスホターゼ・アルファ製剤及びグラチラマー酢酸塩製剤」に改める。
- 別添3別表2中「アスホターゼ・アルファ製剤」の後に「グラチラマー酢酸塩製剤」を加える。

◎「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成26年3月5日付け保医発第0305第3号) (参考:新旧対照表)

改 正 後	現 行
<p>別添1 特掲診療料 第2章 在宅医療 第3節 薬剤料 C 200 薬剤</p> <p>(1) 次の厚生労働大臣の定める注射薬に限り投与することができる。</p> <p>【厚生労働大臣の定める注射薬】</p> <p>インスリン製剤、ヒト成長ホルモン製剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、遺伝子組換型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第IX因子製剤、遺伝子組換型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第IX因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体、活性化プロトロビン放出ホルモン誘導体、スマトスタンホルモン製剤、ゴナドトロビン放出ホルモン誘導体、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、ヒトスマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液、血液凝固阻止剤、生理食塩液、ブロスタグラシンI<sub>2</sub>製剤、エタネルセプト製剤、注射用水、ペグビスマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、ベタメタゾンリソニン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンリソニン酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H<sub>2</sub>遮断剤、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製</p>	<p>別添1 特掲診療料 第2章 在宅医療 第3節 薬剤料 C 200 薬剤</p> <p>(1) 次の厚生労働大臣の定める注射薬に限り投与することができる。</p> <p>【厚生労働大臣の定める注射薬】</p> <p>インスリン製剤、ヒト成長ホルモン製剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、遺伝子組換型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第IX因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体、活性化プロトロビン放出ホルモン誘導体、スマトスタンホルモン製剤、ゴナドトロビン放出ホルモン誘導体、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロンベータ製剤、ブプレノルフィン製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、ヒトスマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液、血液凝固阻止剤、生理食塩液、ブロスタグラシンI<sub>2</sub>製剤、エタネルセプト製剤、注射用水、ペグビスマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、ベタメタゾンリソニン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンリソニン酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H<sub>2</sub>遮断剤、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルビプロフェンアキセチル製</p>

剤、メトクロロプラミド製剤、プロクロルペラジン製剤、ブチルスコボラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システィン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロボエチン、ダルベポエチン、テリペラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリソカルシウム製剤、アボモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブペゴル製剤、トリズマブ製剤、トレプレチン製剤、アバタセプト製剤、pH 4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤、アスホターゼアルブ製剤及びグラマーブ酸塩製剤

### 別添3

- 区分01 調剤料  
(1)～(4) (略)  
(5) 注射薬  
ア (略)

イ 注射薬のうち支給できるものは、在宅医療における自己注射等のために投与される薬剤（インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第V因子加活性化第VIII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロビン放出ホルモン誘導体、ソマトスタンアナログ、顆粒球コロニーフェロソベータ製剤、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロソベータ製剤、ブレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液、血液凝固阻止剤、生

剤、メトクロロプラミド製剤、プロクロルペラジン製剤、ブチルスコボラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システィン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロボエチン、ダルベポエチン、テリペラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリソカルシウム製剤、アボモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブペゴル製剤、トリズマブ製剤、トレプレチン製剤、アバタセプト製剤、pH 4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤及びアスホターゼアルブ製剤

### 別添3

- 区分01 調剤料  
(1)～(4) (略)  
(5) 注射薬  
ア (略)

イ 注射薬のうち支給できるものは、在宅医療における自己注射等のために投与される薬剤（インスリン製剤、ヒト成長ホルモン剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第V因子加活性化第VIII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体、自己連続携行式腹膜灌流用灌流液、在宅中心静脈栄養法用輸液、性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロビン放出ホルモン誘導体、ソマトスタンアナログ、顆粒球コロニーフェロソベータ製剤、インターフェロンアルファ製剤、インターフェロソベータ製剤、ブレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、ヒトソマトメジンC製剤、人工腎臓用透析液、血液凝固阻止剤、生

理食塩水、プロスタグラランジン I<sub>2</sub>製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、エタネルセプト製剤、注射用水、ペグビソマント製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、ベタメタゾンリシン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンリシン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H<sub>2</sub>遮断剤、カルバゾン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルミド製剤、メトクロラミド製剤、メトクロラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアノミウム・グリシン・L-シスステイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン、ダルベポエチン、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、アボモルヒネ塩酸塩製剤及びセルトリズマブペゴル製剤、トリシリズマブ製剤、メトレープチン製剤、アバタセプト製剤、pH 4処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤及びアスホターゼアルファ製剤に限る。

なお、「モルヒネ塩酸塩製剤」、「フェンタニルクエン酸塩製剤」、「複方オキシコドン製剤」及び「オキシコドン塩酸塩製剤」は、薬液を取り出せない構造で、かつ患者等が注入速度を変えることができない注入ポンプ等に、必要に応じて生理食塩水等で希釈の上充填して交付した場合に限る。ただし、患者又はその家族等の意を受け、かつ、これらの麻薬である注射薬の処方医の指示を受けた看護師が、患家に当該注射薬を持参し、患者の施用を補助する場合又は保険薬局の保険薬剤師が、患家に麻薬である注射薬を持参し、当該注射薬の処方医の指示を受けた看護師に手渡す場合は、この限りでない。

(略)

ウ (略)

理食塩水、プロスタグラランジン I<sub>2</sub>製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、スマトリプタン製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、オキシコドン塩酸塩製剤、ベタメタゾンリシン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンリシン酸エステルナトリウム製剤、デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム製剤、プロトンポンプ阻害剤、H<sub>2</sub>遮断剤、カルバゾン酸ナトリウム製剤、トラネキサム酸製剤、フルルミド製剤、メトクロラミド製剤、メトクロラミン臭化物製剤、グリチルリチン酸モノアノミウム・グリシン・L-シスステイン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、エリスロポエチン、ダルベポエチン、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、アボモルヒネ塩酸塩製剤及びセルトリズマブペゴル製剤、トリシリズマブ製剤、メトレープチン製剤、アバタセプト製剤、pH 4処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射)製剤、電解質製剤、注射用抗菌薬、エダラボン製剤及びアスホターゼアルファ製剤に限る。

なお、「モルヒネ塩酸塩製剤」、「フェンタニルクエン酸塩製剤」、「複方オキシコドン製剤」及び「オキシコドン塩酸塩製剤」は、薬液を取り出せない構造で、かつ患者等が注入速度を変えることができない注入ポンプ等に、必要に応じて生理食塩水等で希釈の上充填して交付した場合に限る。ただし、患者又はその家族等の意を受け、かつ、これらの麻薬である注射薬の処方医の指示を受けた看護師が、患家に当該注射薬を持参し、患者の施用を補助する場合又は保険薬局の保険薬剤師が、患家に麻薬である注射薬を持参し、当該注射薬の処方医の指示を受けた看護師に手渡す場合は、この限りでない。

(7)～(14) (略)

別表 1

(7)～(14) (略)

別表 1

○ インスリン製剤、ヒト成長ホルモン製剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第V因子加活性化第VII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第IX因子製剤（活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体を含む。）、性腺刺激ホルモン放出ホルモン製剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体、ソマトスタンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、インターフェエロンアルファ製剤、インターフエロンベータ製剤、ブブレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、エタネルセプト製剤、ヒトソマトメジンC製剤、ペグビズマント製剤、スマトリプタン製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システィン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、アポモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブペゴル製剤、トリソリズマブ製剤、メトレープチノン製剤、アバタセプト製剤、pH4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤及びアスホターゼアルファ製剤のラチマーゼ酸塩製剤の自己注射のために用いるディスポーチブル注射器（針を含む。）

○ 万年筆型注入器用注射針

○ 「特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）」

○ インスリン製剤、ヒト成長ホルモン製剤、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤、乾燥濃縮人血液凝固第V因子加活性化第VII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子製剤、乾燥人血液凝固第VIII因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤、乾燥人血液凝固第IX因子製剤（活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体を含む。）、性腺刺激ホルモン放出ホルモン製剤、性腺刺激ホルモン製剤、ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体、ソマトスタンアナログ、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤、インターフェエロンアルファ製剤、インターフエロンベータ製剤、ブブレノルフィン製剤、抗悪性腫瘍剤、グルカゴン製剤、グルカゴン様ペプチド-1受容体アゴニスト、エタネルセプト製剤、ヒトソマトメジンC製剤、ペグビズマント製剤、スマトリプタン製剤、グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-システィン塩酸塩配合剤、アダリムマブ製剤、テリパラチド製剤、アドレナリン製剤、ヘパリンカルシウム製剤、アポモルヒネ塩酸塩製剤、セルトリズマブペゴル製剤、トリソリズマブ製剤、メトレープチノン製剤、アバタセプト製剤、pH4処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）製剤及びアスホターゼアルファ製剤の自己注射のために用いるディスポーチブル注射器（針を含む。）

○ 万年筆型注入器用注射針

○ 「特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）」

(平成20年3月厚生労働省告示第61号) の別表のIに規定されている特定医療材料

別表2

別表2

インスリン製剤	インスリン製剤
ヒト成長ホルモン剤	ヒト成長ホルモン剤
遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤	遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子製剤
遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子製剤	遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子製剤
乾燥人血液凝固第VIII因子製剤	乾燥人血液凝固第VIII因子製剤
遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤	遺伝子組換え型血液凝固第IX因子製剤
乾燥人血液凝固第IX因子製剤(活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体を含む。)	乾燥人血液凝固第IX因子製剤(活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体巡回活性複合体を含む。)
性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤	性腺刺激ホルモン放出ホルモン剤
性腺刺激ホルモン製剤	性腺刺激ホルモン誘導体
ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体	ゴナドトロピン放出ホルモン誘導体
ソマトスタチナナログ	ソマトスタチナナログ
顆粒球コロニー形成刺激因子製剤	顆粒球コロニー形成刺激因子製剤
インターフェロンアルファ製剤	インターフェロンアルファ製剤
インターフェロンベータ製剤	インターフェロンベータ製剤
ブレノルフィン製剤	ブレノルフィン製剤
抗悪性腫瘍剤	抗悪性腫瘍剤
グルカゴン製剤	グルカゴン製剤
グルカゴン様ペプチドー1受容体アゴニスト	グルカゴン様ペプチドー1受容体アゴニスト
ヒトソマトメジンC製剤	ヒトソマトメジンC製剤
エタネルセプト製剤	エタネルセプト製剤
ペグビゾマント製剤	ペグビゾマント製剤
スマトリプタン製剤	スマトリプタン製剤

グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-シス	グリチルリチン酸モノアンモニウム・グリシン・L-シス
テイン塩酸塩配合剤	テイン塩酸塩配合剤
アダリムマブ製剤	アダリムマブ製剤
テリパラチド製剤	テリパラチド製剤
アドレナリン製剤	アドレナリン製剤
ヘパリンカルシウム製剤	ヘパリンカルシウム製剤
アポモルヒネ塩酸塩製剤	アポモルヒネ塩酸塩製剤
セルトリズマブペゴル製剤	セルトリズマブペゴル製剤
シリズマブ製剤	シリズマブ製剤
メトレープチン製剤	メトレープチン製剤
アバタセプト製剤	アバタセプト製剤
pH 4処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射) 製剤	pH 4 処理酸性人免疫グロブリン(皮下注射) 製剤
アスホターゼアルファ製剤	アスホターゼアルファ製剤
グラチラマ一酢酸塩製剤	グラチラマ一酢酸塩製剤

## 薬価基準告示

No	薬価基準名	成分名	規格単位	薬価(円)
1 内用薬	イフェクサー S R カプセル37.5mg	ベンラファキシン塩酸塩	37.5mg 1 カプセル	160 . 80
2 内用薬	イフェクサー S R カプセル75mg	ベンラファキシン塩酸塩	75mg 1 カプセル	270 . 70
3 内用薬	ヴィキラックス配合錠	オムビタスビル水和物／ノリトナビル	1錠	26,801 . 20
4 内用薬	エクメット配合錠HD	ビルダグリプリチン／メトホルミン塩酸塩	1錠	87 . 70
5 内用薬	エクメット配合錠LD	ビルダグリプリチン／メトホルミン塩酸塩	1錠	87 . 70
6 内用薬	カブレルサ錠100mg	パンデタニブ	100mg 1錠	7,836 . 40
7 内用薬	トラクリアル小兒用分散錠32mg	ボセンタン水和物	32mg 1錠	4,577 . 00
8 内用薬	ピートルチュアル錠250mg	スクロオキシ水酸化鉄	250mg 1錠	214 . 20
9 内用薬	ピートルチュアル錠500mg	スクロオキシ水酸化鉄	500mg 1錠	314 . 30
10 内用薬	マリゼブ錠12.5mg	オマリグリプリチン	12.5mg 1錠	559 . 20
11 内用薬	マリゼブ錠25mg	オマリグリプリチン	25mg 1錠	1,045 . 10
12 内用薬	ミティキュアダニ舌下錠3,300 J AU	なし(コナヒヨウヒダニ抽出エキス及びビヤケヒヨウヒダニ抽出エキスを含有する舌下錠)	3,300 J AU 1錠	66 . 40
13 内用薬	ミティキュアダニ舌下錠10,000 J AU	なし(コナヒヨウヒダニ抽出エキス及びビヤケヒヨウヒダニ抽出エキスを含有する舌下錠)	10,000 J AU 1錠	201 . 20
14 内用薬	ムルプレタ錠3mg	ルストロンボペグ	3mg 1錠	16,107 . 60
15 注射薬	アレルゲンスクランチエキス陽性対照液「トリイ」ヒスタミン二塩酸塩	ヒスタミン二塩酸塩	2mL 1瓶	7,966
16 注射薬	イーケプラ点滴静注500mg	レベチラセタム	500mg 5mL 1瓶	1,978

No	薬価基準名	成分名	規格単位	薬価(円)
17	注射薬 オクトレオスキン静注用セット	ペントレオチド、塩化インジウム ( <sup>111</sup> In)	1セット	115,464
18	注射薬 コパキソン皮下注20mgシリシジ	グラチラマー酢酸塩	20mg 1mL 1筒	5,617
19	注射薬 テムセルH S注	ヒト(同種)骨髄由来細胞懸濁液	10.8mL 1袋	868,680
20	注射薬 ヨンデリス点滴静注用0.25mg	トラベクテシン	0.25mg 1瓶	49,307
21	注射薬 ヨンデリス点滴静注用1mg	トラベクテシン	1mg 1瓶	197,698
22	注射薬 ライゾデグ配合注 フレックスタッチ	インスリンアスバルト(遺伝子組換え)/インスリンアスバルト(遺伝子組換え)	300単位1キット	2,322
23	注射薬 ライゾデグ配合注 ペンライル	インスリンアスバルト(遺伝子組換え)/インスリンアスバルト(遺伝子組換え)	300単位1筒	1,551
24	注射薬 リューブリンPRC注射用キット22.5mg	リュープロレリン酢酸塩	22.5mg 1筒	105,039
25	外用薬 スピオルトレスピマット28吸入	チオトロピウム臭化物水和物/オロダテロール塩酸塩	28吸入1キット	4,256.90
26	外用薬 ゼビアックスローション2%	オゼノキサシン	2% 1g	82.20
27	外用薬 ロコアテーブ	エスフルルピロフェン/ハッカ油	10cm×14cm 1枚	45.90